



令和4年3月30日
道路局 高速道路課

高速道路会社への事業許可について

本日、別紙の事業について、道路整備特別措置法第3条に基づき、国土交通大臣より高速道路会社へ事業許可を行いましたのでお知らせします。

<問い合わせ先>

道路局 高速道路課 企画専門官 依田（内線：38314）

企画専門官 金森（内線：38315）

代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8500 FAX：03-5253-1619

4車線化箇所

| 事業区間名 | | 延長 | 事業費 | 都道府県 |
|----------|-------------------------------------|----------|----------|------------|
| 道東自動車道 | トマムIC <small>とからしみず</small> ～十勝清水IC | 約 5.9km | 280 億円 | 北海道 |
| 常磐自動車道 | ひろの 広野IC～ならは SIC | 約 5.6km | 310 億円 | 福島県 |
| 東海北陸自動車道 | ふくみつ 福光IC～南砺SIC | 約 4.6km | 80 億円 | 富山県 |
| 舞鶴若狭自動車道 | おぼまにし 小浜西IC～小浜IC | 約 7.6km | 610 億円 | 福井県 |
| 米子自動車道 | みぞくち 溝口IC～米子IC | 約 4.8km | 170 億円 | 鳥取県 |
| 浜田自動車道 | おおあさ 大朝IC～旭IC | 約 11.2km | 750 億円 | 島根県 広島県 |
| 東九州自動車道 | つくみ 津久見IC～佐伯IC | 約 3.3km | 370 億円 | 大分県 |
| 合計 | | 約 43km | 2,570 億円 | |

国土強靱化に資する道路ネットワークの機能強化(令和3年度補正、令和4年度)

※令和4年度国土交通省予算決定概要
令和3年12月24日

【財政融資資金 計0.5兆円(令和3年度補正:0.3兆円、令和4年度当初:0.2兆円)】

財政投融資を活用して、暫定2車線区間の機能強化による安全性・信頼性の向上を行う。

＜金利負担軽減の活用等＞

超長期(35年)
・固定等の財政融資
0.5兆円の追加



(財投活用による効果)
機構:0.25兆円程度の
金利負担の軽減



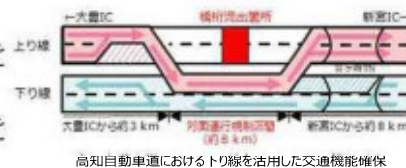
0.25兆円程度の事業を実施
(財投活用による整備予定箇所)
○ 暫定2車線区間における4車線化の実施

＜事業(例)＞

【4車線化の効果の例】

平成30年7月豪雨

高知道において、上り線の橋梁が落橋したが、下り線を活用し、被災6日後に暫定2車線で一般車両の交通機能を確保



令和2年7月豪雨

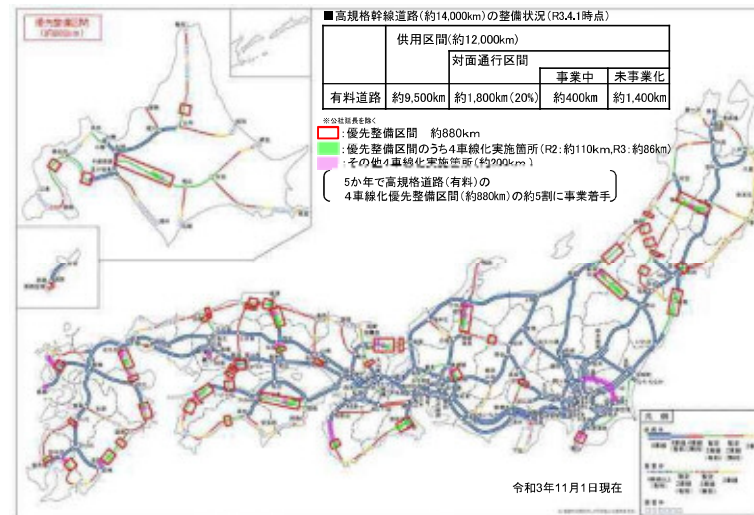
九州道(横川~溝辺鹿児島空港)において、4車線のうち被害のない2車線を活用し、約8時間で一般車両の下り線の通行を確保。また、約19時間後には一般車両の上下線の交通機能を確保



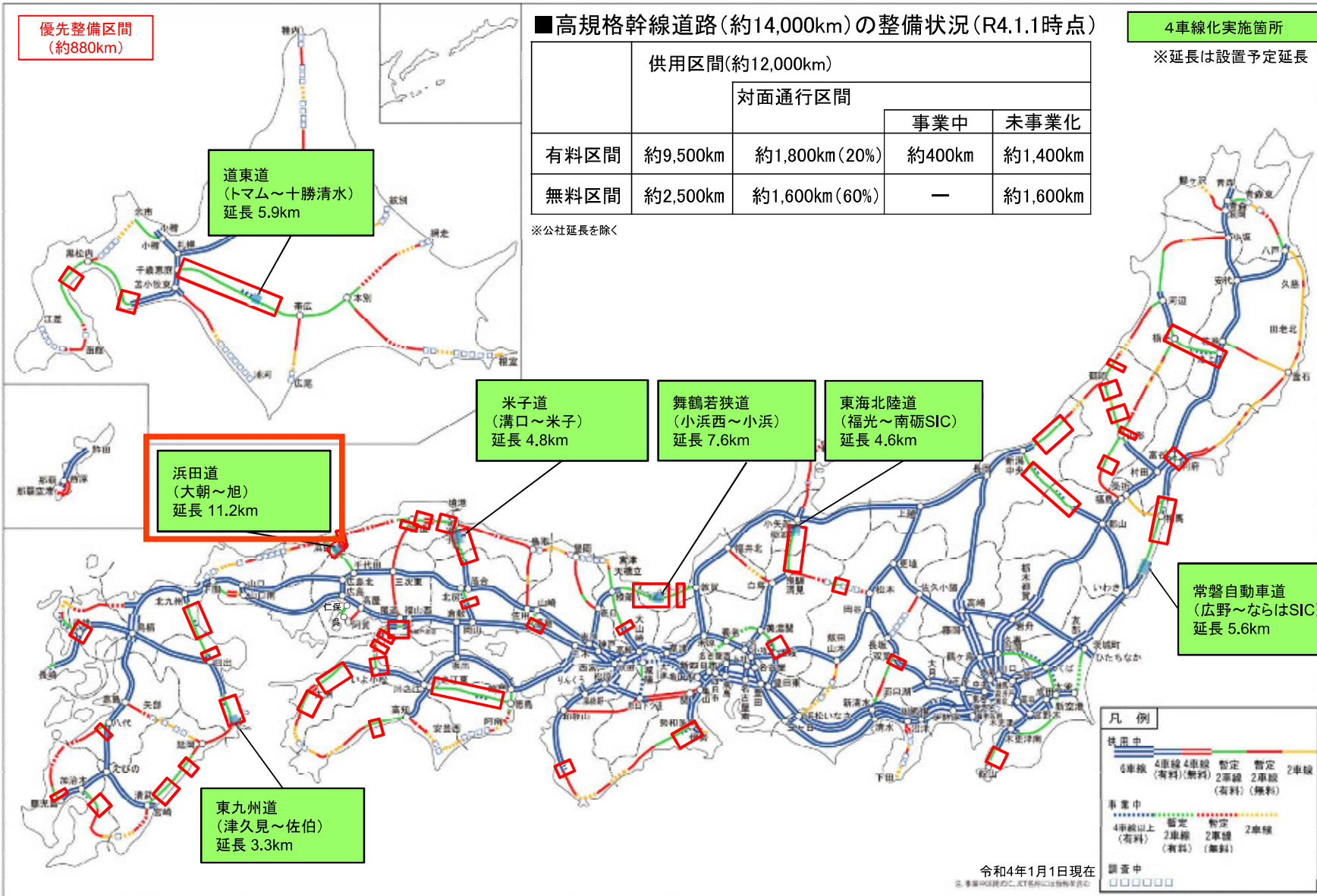
九州自動車道(横川~溝辺鹿児島空港)の被害状況

【事業内容】

防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保のため、暫定2車線区間における4車線化による機能強化



4車線化実施箇所



はまだ おおあさ あさひ 浜田自動車道(大朝～旭)

<NWの代替性確保>
(積雪地かつ最急勾配)



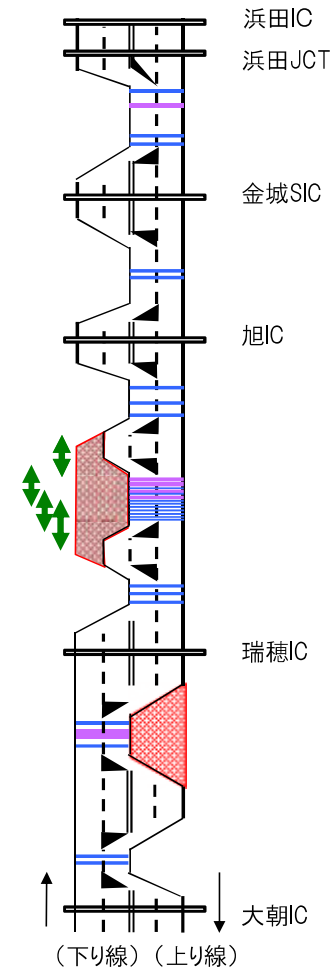
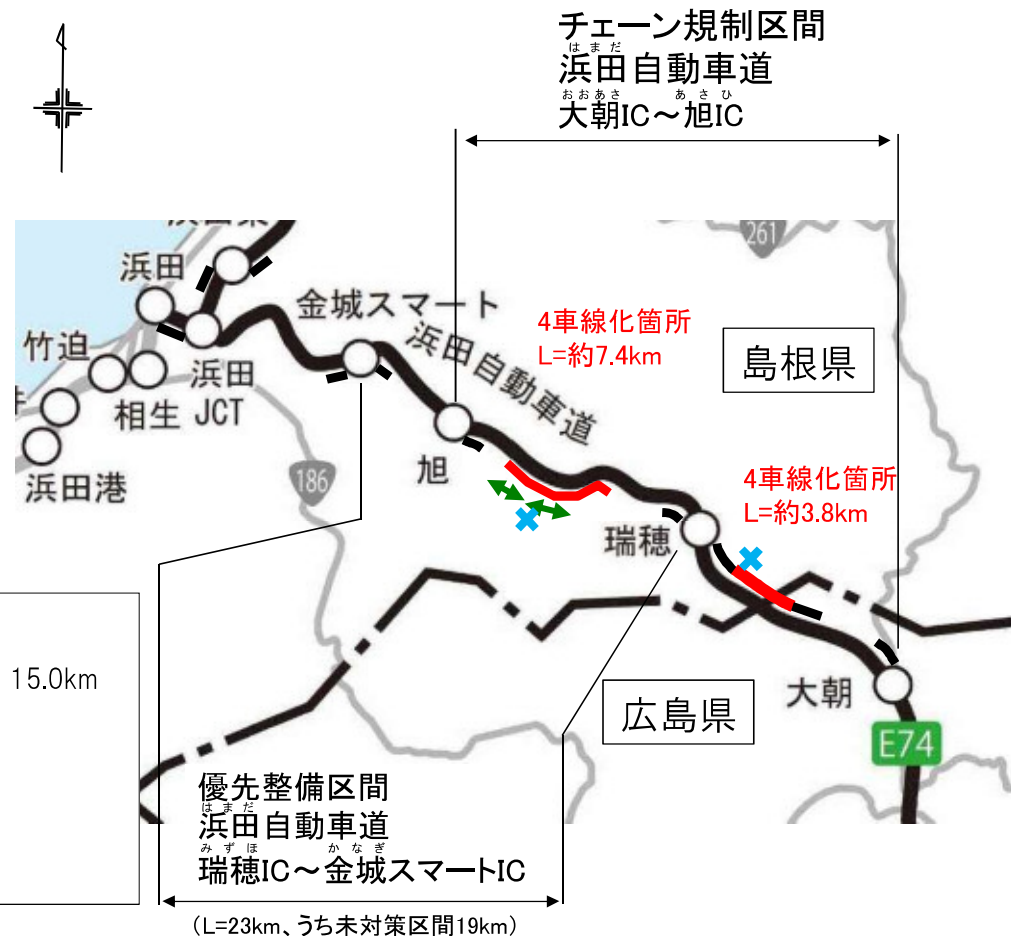
- 【凡例】
- 事業化箇所
 - 付加車線(設置済)
 - ↔ 最急こう配が4%より大きい箇所
 - ✕ 積雪時立ち往生発生箇所

浜田自動車道(大朝～瑞穂～旭)

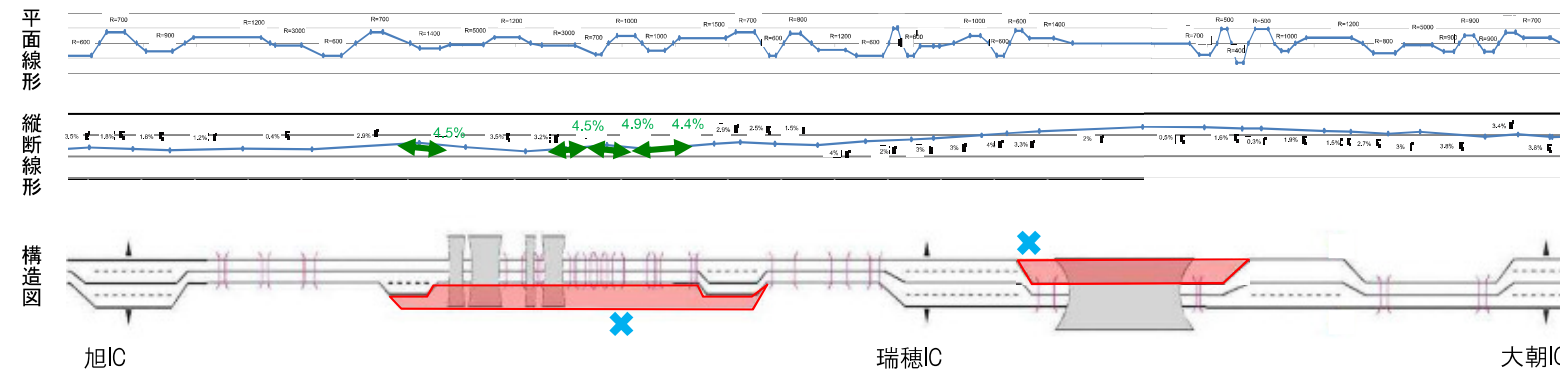
延長 : 大朝～瑞穂 : 11.6km 瑞穂～旭 : 15.0km

R2交通量 : 大朝～瑞穂 : 3,100台/日
: 瑞穂～旭 : 2,800台/日

平均累積降雪量 : 195cm (気象庁データ[大朝])
<H28～R2>



《道路構造》



- トンネル
- 橋梁

- 【凡例】
- || 橋
 - トンネル

事業費 : 約750億円